

DAIDO CAMPUS

大同工大キャンパス

No.53 2005.7

巻頭特集／平成18年度新学科開設と
工学部・情報学部改組

DIT『愛・地球博』に参加!

就職トピックス

学生の活躍：クラブ活動特集

第40回宴祭：熱い想いを込めて開催!

トコトン先生大活躍：研究室訪問 (坂倉研究室、本田研究室)

元気印の卒業生⑨ 廣瀬晴夫氏・柴田達志氏・仲井友崇氏

開かれた大学／トピックス／巻末トピックス

宴祭・後夜祭でのファイナル (写真提供：アルバム委員会)

平成18年度、 本学は大きく変わろうとしている。 ここで、その概要を紹介しよう。

東海地区初のロボティクス学科

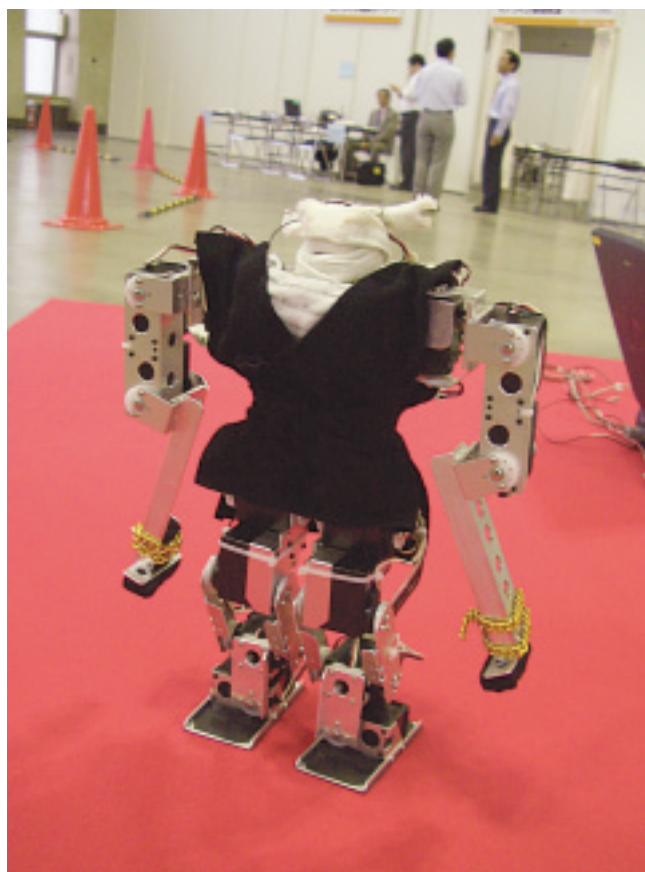
前号でも紹介したが、ロボット工学を専門とする新学科「ロボティクス学科」を来年4月に開設するため、現在その準備が進められている。本学ではこれまで機械系、電気電子系、情報系の学科でそれぞれ独自にロボット技術の教育・研究を行ってきた。しかし、ロボット技術の革新と関連産業の市場拡大が確実視されるため、独立学科が必要と判断、ロボットに関するハードからソフトまでのシステムを統合できる専門技術者の養成を目指す。

ロボティクス学科とは？

これまでロボットといえば、産業用ロボット。しかし今後は、各種ロボットが私たちの生活に入り込み、福祉介護などの生活支援、防災・災害対策等に活躍するものと期待されている。こうした時代に先駆けて、実際に2足歩行型のロボットを教材として導入する他、最先端のロボットも生きた教材に。すでに各種ロボット競技会に参加し、優秀な成績を収めている。

本学のロボット活躍中！

4月には『愛・地球博』に出展されたが、6月29日から吹上ホールで開催された『モノづくり革新展』でも「サッカーロボット」、「からくりサーカスロボット」、「2足歩行ロボット」を出展、デモンストレーションを行った。また、7月13日からは、「ロボカップ2005大阪世界大会」に出場。すでに各種イベントで活躍している。



『モノづくり革新展』に出展された「2足歩行ロボット」



『愛・地球博』に出展された「サッカーロボット」(左)と「からくりサーカスロボット」(右)

ロボティクス学科用に新棟建設

現在、新学科開設にあたりロボット工房や大型実験室など最新の研究・教育施設を備えた新棟を建設中である。6階建てのこの棟には、学習支援センターの施設も設置される。場所は、ユメディオの隣。来年3月の完成を目指し工事が進められている。



A棟本館(14階)の右側が新棟(6階)



工事の様子



起工式の様子

工学部・情報学部も改組

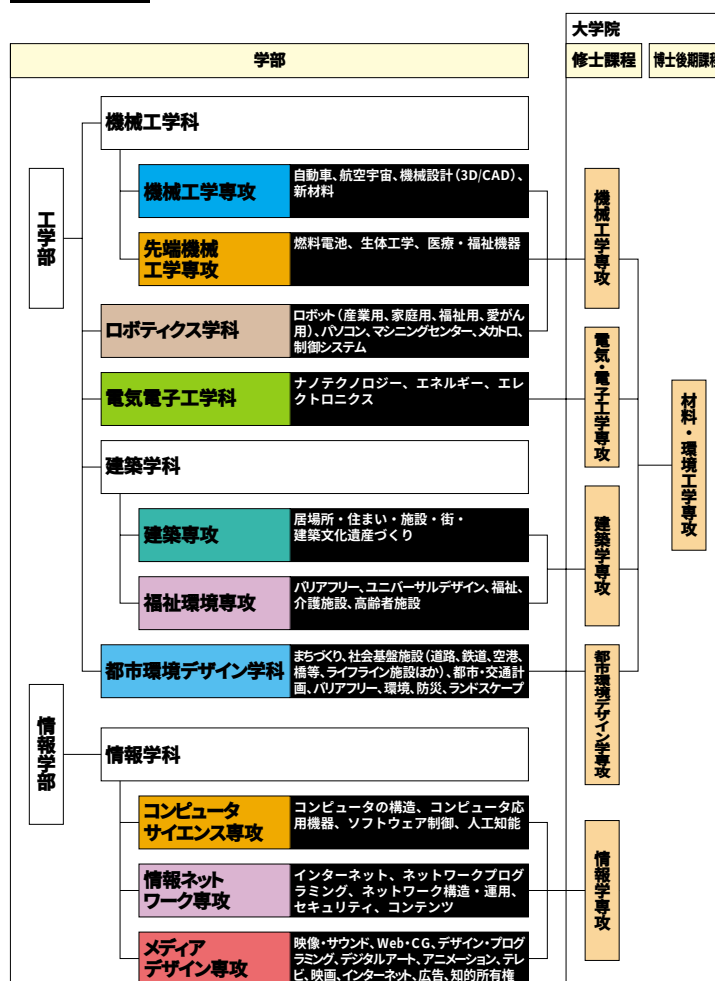
新学科の開設と同時に、各学部学科でも社会の要請に応えるため、改組を行う。概要は、図のとおり。具体的には、機械工学科、建築学科、情報学科に各種専攻を開設する。電気電子工学科、都市環境デザイン学科もカリキュラムを再編成する。これにより、ロボティクス学科とあわせ、平成18年度から10の学科・専攻という新体制となる。(なお、ロボティクス学科開設により情報機械システム工学科の募集は、平成17年度をもって終了。)

大学院も改組

工学研究科修士課程は、平成18年度から建設工学科を建築学専攻と都市環境デザイン学専攻に改組。機械工学専攻と電気・電子工学専攻とあわせて4専攻となる。なお、大学院では今年度から情報学研究科情報学専攻を開設。工学研究科とあわせて2研究科となった。各専攻とも8月1日から入学者の募集を開始する。

学科紹介

10の領域をカバーする、新たな学科・専攻体制



DIT『愛・地球博』に参加!

3月25日からの「モノづくりランド シンフォニア」に西堀ロボティクス・ラボがロボットを出展、4月21日からの「れあるファミリースクール」に参加・協力、7月17日は日本宇宙少年団東海地区協議会結成式で澤岡学長が講演するなど、DITは各種イベントに参加。今後予定されているイベントもあるので、ここで紹介しよう。



『愛・地球博』ささしまサテライト会場で学生デザインのベンチを展示

建築学科の学生がデザインしたリサイクルベンチが、『愛・地球博』ささしまサテライト会場「デ・ラ・ファンタジア」に展示される!このベンチは、建築廃材である塩ビを再利用して製作されたもの。「現代GP」の一環として学生がデザインを担当した。名古屋市による南区PRイベント期間中に展示される。

■展示期間 平成17年8月1日(月)～7日(日)

■展示場所 「デ・ラ・ファンタジア」

名古屋市中村区旧笹島貨物駅跡地



学生デザインによる「リサイクルベンチ」

『愛・地球博』長久手会場で風力発電シンポジウム開催!

8月26日、電気電子工学科の佐藤義久教授による風力発電シンポジウムが開催される。このシンポジウムは、地球温暖化防止と環境保全のため、自然エネルギーシステムの実用化と将来展望について考えるもので、インターネットによる映像で本学キャンパスに設置した風力発電システムの現状も紹介される。

■開催日時

平成17年8月26日(金)

17:00～20:00

■会場

EXPOホール(長久手会場)

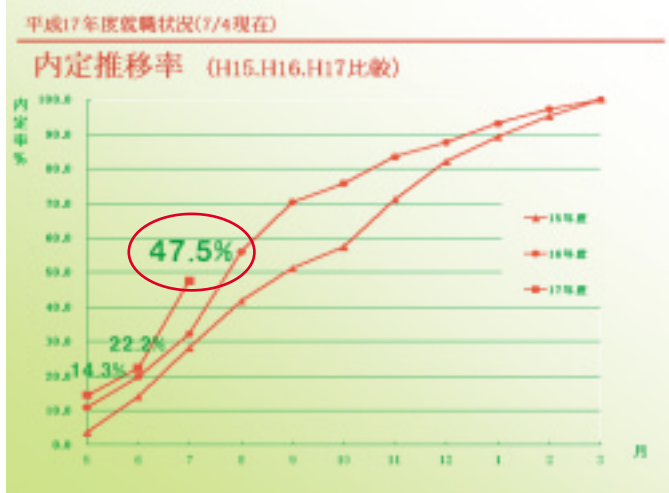


本学に設置された「都市型風力発電システム」

名古屋の好景気を反映し、順調に推移

就職トピックス

就職率**100%**維持のために 精力的な取り組みを！



本学への求人は、自動車関連の製造業が好調なため、機電系を募集する企業が大幅増。建設系についても1社あたりの求人数が増加している。学生の内定率は、機械・電気系の学科および情報学科理系の場合、好調であった昨年度を大幅に上回る状況。他学科については、昨年と同じレベルである。今後は、より早い内定を得るため、求人数増加という状況に惑わされず、適正な企業を選択するよう支援する予定である。

6月に学内企業説明会を開催

6月1日から5日間にわたり、図書館大会議室で学内企業説明会が開催された。本学の学生を採用したいという企業130社が、毎回20社から30社参加。未内定の学生にとっては大きなチャンスとなった。学生達は事前に参加企業の求人情報を確認し、希望企業を選択。目的の会社のブースに行くと採用担当者の方から会社や入社試験の説明を受けた。学内企業説明会は、毎年この時期に開催され、多くの学生が内定している。



本学の「就職」がランクイン

今年も各社調査による就職ランキングで上位に。そして「学生を育てる力」の高い大学では、なんと全国で1位に！
本学の「教育」と「就職」が高く評価された！

豊田工業大学
富山県立大学
東京福祉大学
豊橋技術科学大学
秋田県立大学
大同工業大学
青森県立保健大学
茨城県立医療大学
山形県立保健医療大学
静岡理工科大学
愛知工科大学
金沢工業大学
千歳科学技術大学

■「週刊エコノミスト」
(毎日新聞社) 2005.7.12号
主要389大学の「就職率」6位

■「大学ランキング」(朝日新聞社)
2006年版 就職指導 27位 (427大学中)



順位	大学名
1	私 大同工業大学
2	私 東京福祉大学
3	私 静岡理工科大学
4	私 金沢工業大学
5	私 千歳科学技術大学
6	私 相山平成大学
	私 聖カタリナ大学
	私 愛知工科大学

■「週刊エコノミスト」
(毎日新聞社) 2005.7.12号
「学生を育てる力」の高い大学 1位

茨城県立医療	愛知
3 豊田工業	青森
4 青森県立保健	青森
5 東北女子	愛知
6 大同工業	愛知
7 埼玉県立	埼玉
8 藤田保健衛生	愛知
9 電気通信	東京
10 金沢工業	石川
11 明治薬科	東京
専門教育	徳島



■「Yomiuri Weekly」
(読売新聞社) 2005.6.12号
就職に強い大学上位200大学 6位

学生生活といえば、クラブ活動も大きなウェイトを占めているだろう。
本学でも毎年多くのクラブが活動している。
上位入賞などすばらしい成績を収めているクラブもあるので、
主な活躍状況をお知らせしよう！

ハンドボール部

●東海学生ハンドボール 春季リーグ戦

1部2位

ベストセブン 02C 神林貴之君 03B 亀井 亘君
得点王 02C 神林貴之君

●西日本学生ハンドボール選手権大会

ベスト8 全日本インカレ出場権獲得



■詳細は、ハンドボール部のホームページを。
<http://dit-handball.hp.infoseek.co.jp>



亀井君、シュートの瞬間



神林君のシュート

漕艇部

●第37回中部学生ボート選手権大会 ダブルスカル

準優勝 01E 石丸剛士君 02A 深谷 裕君

バレーボール部

●第119回東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会

1部 7位

●愛知学生選手権

Aチーム 3位



決勝戦 名工大とのデッドヒート(奥が本学)

陸上競技部

●第71回東海学生陸上競技対抗選手権大会

5000m 6位 02C 奥野 拓君

●第65回愛知県陸上競技選手権名古屋支部予選会

3000m SC 2位 03J 道家崇文君

●第65回愛知県陸上競技選手権東三河支部予選会

1500m 2位 03E 荻野秀磨君

●第70回岐阜県陸上競技選手権大会

1000m 7位 04J 幅 光宏君

●第68回三重県陸上競技選手権大会

1000m 6位 02C 奥野 拓君

※幅、奥野の2名が東海選手権の出場権獲得



準優勝ペア 深谷君(左)と石丸君(右)

スキー部

●第32回全国学生岩岳スキー大会

男子滑降 3位 04B 梶 彰克君

男子総合成績 17位



男子滑降 3位の梶君 (中央) と その賞状、トロフィー



自動車部

●ジムカーナ東海シリーズ第5戦

N-2クラス 1位/14人 05MM 近藤 豊君

●全中部学生ジムカーナ選手権大会

団体 4位/11団体

2位/21人 05MM 横山和彦君

●ジムカーナ東海シリーズ第6戦

S1クラス 1位/23名 04EM 渡辺信吾君

N2クラス 1位/19名 05MM 近藤 豊君

レーシングカート部

●SLレインボーカップシリーズ Rd.3

FP-3 3位/11台 02M 榊原康人君

●鈴鹿選手権第3戦

KT100S-02OPEN 決勝3位 02M 榊原康人君

●東海シリーズ第4戦

N2クラス 1位/14台 05MM 近藤 豊君

ロボット研究同好会

●『愛・地球博』長久手会場「モノづくりランドシンフォニア」
3月25日～4月24日出展

●ロボカップ春季競技会

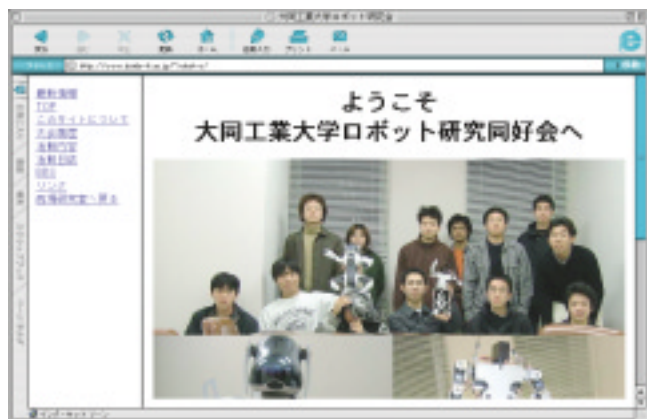
5位/8チーム

●モノづくり革新展・名古屋セキュリティ産業展

6月30日～7月2日出展

●ロボカップ2005大阪世界大会

一次予選突破



■詳細は、ロボット研究同好会のホームページを。
<http://www.daido-it.ac.jp/~robot-c>

吹奏楽部

吹奏楽団、愛知県青少年育成県民会議より表彰

5月18日、愛知県図書館にて「愛知県青少年育成県民会議総会」が開催され、本学吹奏楽団が多年に渡る青少年の健全育成活動に貢献した功績を称えられ表彰を受けた。吹奏楽団は、毎年、地域の老人医療施設、身障者労働福祉センターなどへの慰問演奏を行い、南区区民まつりや地元商店街のお祭りなどからも演奏依頼を受けている。また、本学ハンドボール部の応援演奏をはじめ、大同特殊鋼ハンドボールチームや、日本代表チームの応援演奏を行った経験もあり、こうした活動が評価され今回表彰を受けることとなった。

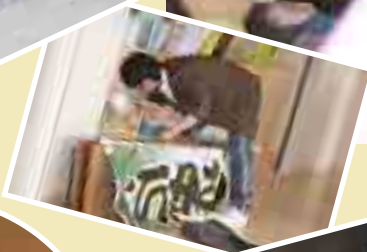


報告を受けた学長と
吹奏楽団前団長 小林知子さん (02C)

第40回

宴祭

熱い想いを



【第40回 宴祭スケジュール】

4月1日(金)～5月24日(火)／大同ドライブラリー
5月22日(日)／美流輝移仮装行列(名古屋市中区白川公園にて)
5月23日(月)／ボウリング大会
5月24日(火)／お尋ね者を探せ!
5月25日(水)／バドミントン大会
5月26日(木)／前夜祭
5月27日(金)／ドッチの映画SHOW
5月28日(土)／本祭
5月29日(日)／本祭、後夜祭(プロコンサート KOKIA)



今年の宴祭は、記念すべき第40回!テーマは「侍〜斬り開け享楽時代〜」。時代を斬り開いて新時代を作りあげていくように、新しい宴祭をつくりあげようという意味をこめて開催された。サブテーマは「享楽時代」。思い出に残る宴祭としていろいろなイベントが実施された。これまでにない宴祭にしようと、新たなイベントも企画された。今回も宴祭の主役は、学生一人ひとり!写真で追いながら、今年の宴祭の様子を振り返ってみよう。

込めて開催!



5月とはいえ暑いぐらいの日差しのなか、多くの参加者で盛り上がった。本学のクラブや研究室、女子大などの他大学によるイベント・模擬店が多くの人々を楽しませた。在学生はもちろん卒業生や一般の方々もたくさん集まり、同時開催のオープンキャンパスでは高校生にも楽しんでもらった。他大学に先駆けて開催されたDITの大学祭「宴祭」は、今年も盛況裏に幕を閉じた。

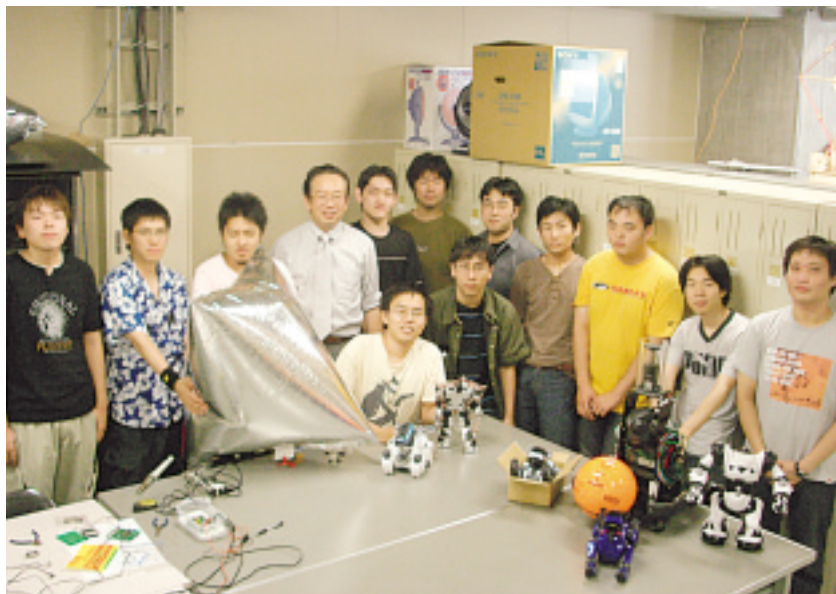
(写真) 仮装行列、前夜祭、本祭、後夜祭ほか 写真提供:アルバム委員会

電気電子工学科 坂倉守昭 研究室

※坂倉助教授は、4月からロボティクス学科に
配属される予定。

トコトン先生！
大活躍！

坂倉助教授の専門は、制御システム。ロボット関連の技術である。そのため、研究室では各種ロボットが研究されている。サッカーロボットをはじめ、アイボや2足歩行ロボット、シミュレーションサッカーなど複数のプロジェクトが進行中。主なプロジェクトを紹介しよう。



①サッカーロボット



ロボット研究同好会との合同研究。坂倉研究室は、キーパーロボットを担当。ボールにすばやく対応できる

よう俊敏な動きを研究中。そのためカメラを増設し、反応の強化を図っている。取材時は、7月の大阪世界大会に出場するため、入念な調整が行なわれていた。

②空中浮遊ロボット



特に目をひいたのが、風船のような形のロボット。風船のように浮き、小型プロペラで空中を移動するという。

本体にはコンピュータとカメラが取り付けられ、セキュリティ用のロボットとして研究されている。室内を見張り、不審者の追跡や火事の発見などを行なう、いわば「ガードマンロボット」である。

情報学科（電子情報コース／ ソフトウェアコース） 本田隆司 研究室

※本田教授は、4月から情報学科情報ネットワーク専攻に配属される予定。



本田教授の専門は、ネットワーク技術。ITを使ったユビキタス教育を目指し、授業でも実践している。携帯電話による出席確認やインターネット掲示板によるレポート提出などはその一例。

学生が興味を持ちつづけるよう、日々工夫・改良を行なっているという。



インターネット掲示板によるレポート

卒業研究もネットワークを使ってインタラクティブに実施中。研究室のサーバを利用し、各自が研究テーマに自分のペースで取り組んでいるようだ。

①携帯電話+データベース

携帯電話を使ってネットワーク上にあるデータベースにアクセスする研究。サーバにアクセスし、必要な情報をどこからでも効率よく検索する技術を研究中。

②画像処理

WEBカメラを利用し、交通量を調査する研究。連続した画像を処理することにより、前後の変化を読み取り調査に応用するという技術を研究中。



画像処理システム

その他、無線LANやUSB制御などの研究も行なわれており、学生が興味を持ったテーマには積極的に支援取り組んでいる。特に「ネットワーク」という特性を活かして大学にいらなくても研究できることが大きな特徴。研究室のサーバにアクセスすれば、自宅に居ながら研究できるなど、他にはないスタイルで展開されている。

99Mの廣瀬晴夫さんが テコンドーで世界第3位に!

元気印の卒業生 ⑨



ワールドカップ準決勝で「跳び後ろ廻し横蹴り」を決める廣瀬さん



世界第3位の賞状とメダル

機械工学科を卒業し、株式会社ツカモトで技術者として活躍している廣瀬晴夫さん。金型の仕事をがんばりながら、在学中から続けているテコンドーに情熱を燃やしている。

テコンドーとは、空手をもとにした韓国発祥の格闘技。廣瀬さんは、6年前から練習を続けてきた。2004年11月にはアメリカで開催されたワールドカップに出場、なんと世界第3位という快挙を成し遂げた!オリンピックとは異なるルールの大会のため、日本代表に選ばれることはないそうだが、世界トップレベルであることは間違いない。7月27日からは次の世界大会に出場するとのこと。世界大会では「優勝して世界一になる!」と力強く目標を語ってくれた廣瀬さん。今後の活躍が期待される!

柴田達志さん「大改造!!劇的ビフォーアフター」に3回目の登場!

6月19日、朝日放送の「大改造!!劇的ビフォーアフター」に建設工学科建築学専攻(現・建築学科)の卒業生、柴田達志さんが登場した。今回で3回目の登場である。

特集は、匠の自邸。自由な発想と遊び心にあふれたデザイン、柴田さんの家づくりの原点が自宅に隠されていた。そこには、樹齢百年の杉の一枚板で作ったカウンターやこだわりの靴箱などが、自分の家を実験の場と公言する氏。常に新たな試みを重ねている様子が紹介された。

なお、柴田さんがこれまで登場した特集は、次のとおり。

- ①2002年11月 3日 「かつて銭湯だった家」“モダニズムの継承者”として登場!
- ②2004年 4月 4日 「空き部屋だらけの家」2時間スペシャル放送!
- ③2005年 6月19日 「匠の自邸」



ハンドボール部卒業生 仲井友崇さんが ドイツ・プロリーグに出場!



今年3月、石井記念体育館でウェイトトレーニングをする仲井さん

前号で紹介した仲井友崇さん(00C)は、現在ドイツハンドボールチーム「HSG-デュッセルドルフ」に所属。その後、試合に出場したというニュースが届いた!リーグ優勝がかかった試合に出場し、チームは見事勝利!初めてアウェイでのゲームを味わったとのこと。1試合の大半誰かが退場しているという状態で、仲井さん自身も前半で2回退場、かなり苦しい戦いとなったという。「自分のプレーには決して満足は出来なかったが、優勝を決める試合とあって、多くの観客のなかでプレーを楽しむことができた。良いプレーをしてチームメイトや監督の期待に応えられるように頑張りたい!」というコメントも。活躍したいではチームのホームページに掲載されるという。アクセスは、こちら!



■HSG-デュッセルドルフのホームページ
<http://www.hsg-duesseldorf.de>

「AAオープン講座」学長の講演に 東海ラジオ・小島アナウンサーも参加!

AAセミナーの時間帯に1年次生のほか学外の方も対象として開催する「AAオープン講座」に、今年も多数の参加があった。

4/18(月)	宇宙開発からみた日本の実力ー君たちの時代に宇宙旅行はあり得るか ／澤岡昭学長
5/ 9(月)	日本語教育のすすめ ／岡山大学工学部教授 塚本真也氏
5/23(月)	イタリアデザインの楽しさ ／佐藤和子情報学部客員教授
	見えない光を見てみましょう ／サンゴパン株式会社セールスマネージャー 渡辺裕夫氏
6/20(月)	イタリアデザインの楽しさ パートII ／佐藤和子情報学部客員教授

なお、4/18(月)の澤岡学長の講演では、東海ラジオアナウンサー小島一宏氏も参加!以前、学長が東海ラジオに出演したことから、今回の参加となった。



「ライブコミュニケーション楽」 本学にあの有名人が来る!!

本学に著名人を招き、学生とトークするという企画が立ち上がった。この企画は、学生が企画する公開講座として6月9日に“第0回”が開催された。この日、プロデューサーであるマロンブランド代表



栗山圭介氏と学生たちが集まり、講座立ち上げについて討論が行なわれた。この席上には澤岡学長も参加。秋の本格的な開催に向けて準備がすすめられることとなった。今後、各界の著名人が本学に招待されるが、詳細は後日発表される予定。

地域連携講座(金属工房)「銀の装身具をつくろう」ものづくりの楽しさを実感!

6月18日、25日の土曜日2日間、D棟創造製作センターで金属工房「銀の装身具をつくろう」が開催された。

大同工業大学と名古屋市南区の共催によるもので、今年で5回目を数える。講師は金属造形家、鬼頭正信先生。人気の高い講座で、今年も26名の受講生が集まった。皆さん、真剣な表情で先生の指導に聞き



入り、熱心にシルバーアクセサリーづくりに取り組んだ。一人ひとりが、工夫を凝らして指輪やブレスレット等、自分の思い描いた形どおりに作り上げる楽しさや、モノづくりの歓びを存分に味わっていた。

「大学院特別講義」博士後期課程の講義に 企業の方も参加!

大学院博士後期課程の授業を一般の方にも開放する公開講義を開催。5月から7月までの毎週金曜全13回の開講で、毎回教授陣が交代して材料・環境に関する講義を行なった。6月17日には、アイシン・エイ・ダブリュ(株)からも参加があり、熱心に聴講されていた。



日本宇宙少年団イベント 「ロボットと遊ぼう」「カメラキットの製作教室」 2つの内容で充実の3時間!

6月19日の日曜日、A棟交流室(14階)で、恒例となった日本宇宙少年団名古屋支部のイベントが開催された。参加したのは、団員26名とその保護者21名。

2部構成で、前半は情報機械システム工学科の西堀賢司教授による講演会「ロボットと遊ぼう」。ロボットの実演を交えながらの興味深い話の展開に、参加者からの質疑応答も盛んに行われた。

続いて後半は、「カメラキットの製作教室」。指導は名古屋工業大学の坂井孝弘氏。簡単に組み立てられる紙製カメラで、実際に撮影までを体験した。参加者は14階からの風景等を撮影し、科学の面白さに触れていた。

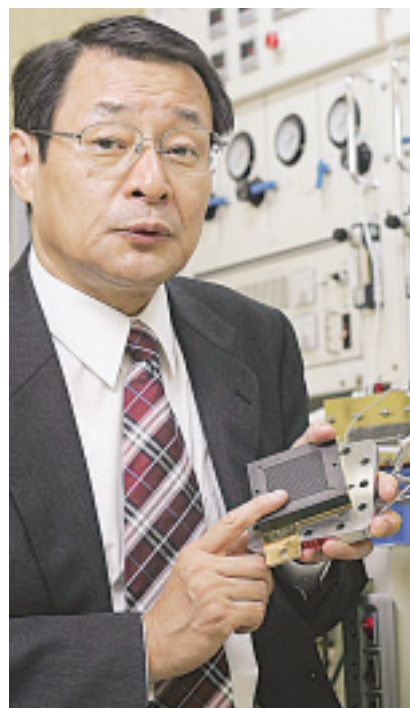


澤岡学長 ポーランドの 研究所から国際貢献賞を受賞

去る6月、澤岡学長はポーランド科学アカデミー物理化学研究所の50周年記念式典において国際貢献賞を受賞した。この賞は、同研究所の発展に貢献した外国人に贈られるものである。学長は約30年前にS.M.フリベック博士（現在、同研究所副所長）と金属水素化物の共同研究を開始した。その当時、二人とも30歳代前半の若い研究者であった。それ以来、学長は固体物理学分野で、ポーランドと日本の共同研究を推進したばかりでなく、文化交流についても多くの貢献を行っている。研究所50周年を記念して設けられた国際貢献賞がアメリカ、スイス、日本の研究者各1名に贈られた。



機械工学科 堀美知郎教授が燃料電池開発でNEDOと契約!



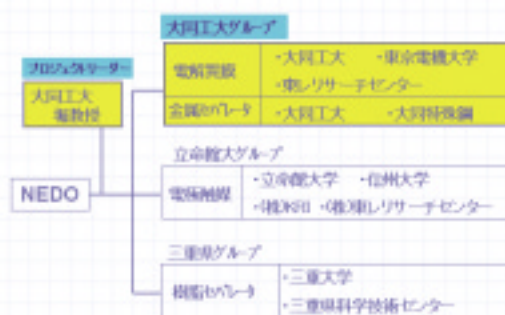
国家プロジェクトが本学で展開されることとなった!NEDO（新エネルギー・産業技術開発機構）の委託を受けて行なう研究で、自動車用燃料電池実用化に向けた技術開発を行なう。国の計画として平成17年度の予算体制は、350億円。各研究分野に応じて予算配分さる。今回本学は、基礎的・共通の技術開発に応募し、採択された。

- 第1期2002～2004年 大同工大は東芝燃料電池システムからの委託
- 第2期2005～2009年 NEDOから直接委託

研究は、大同工大グループ、立命館大グループ、三重県グループの3つに分かれて推進。特に本学は、堀教授がプロジェクトリーダーとなり、全体を統括する役割を担うことになった。

NEDOの狙いは、燃料電池評価研究センターを国内にいくつか設置し、将来的に燃料電池に開する評価センターネットワークを構築すること。本学は、研究テーマである「水管理によるセル劣化対策の研究」により、中部地区での中核センターになることを目標としている。

NEDO燃料電池委託事業の研究体制



「現代GP」によりコラボレーション授業が展開

6月に建築学科と電気電子工学科の学生によるコラボレーション授業が実施された。これは、キャンパスの道路際に学生のデザインした照明器具を設置し、地域との境界面を演出するという「現代GP」の事業の一環。地域貢献にリンクする課題として、ソーラー発電によるLED照明装置が製作されている。照明は、本学B棟前と名鉄大同町駅周辺の大同高校前に設置される予定。今回、他学科とのコラボレーション授業が実現したことは、授業の活性化にもつながるため、今後の展開が注目される。

※現代GP:現代的教育ニーズ取組支援プログラム（文部科学省）



都市環境デザイン学科 大東憲二教授がNHK報道番組に!

大東教授が研究している土壌浄化技術について、6月にNHKの番組取材があった。大東教授が矢作建設工業株式会社と共同で推進している「愛知土壌・地下水汚染対策研究会」の活動が、最近名古屋で注目されている「土壌浄化ビジネス」に関連しているため。今回の取材内容が、NHKの報道番組で放送された。放送された番組は次のとおり。

- 6月8日(水)「ほっとイブニング」
- 6月9日(木)「おはよう東海」
- 7月8日(金)「ナビゲーション」 7月10日(日)再放送



建築学科 光田恵助教授が光触媒シンポジウムに参加



5月20日、名古屋市港区のポートメッセなごやで開催された「ウェルフェア・フォトクリンフェア同時開催記念シンポジウム」に光田助教授がパネリストとして参加した。テーマは「医療・福祉・生活環境に活かす光触媒技術」。コーディネーターは光触媒の権威である多賀康訓氏、パネリストに4名の専門家が参加。光触媒を医療や介護などの場で利用する研究が発表された。光田助教授は、介護現場での実験にもとづいた臭気特性と対策について研究成果を発表した。参加者は、学生から企業担当者、介護現場の方々など700人を超え、この分野の注目度の高さが伺えた。



NHK総合テレビの 「ためしてガッテン」で建築 学科の学生が実験に協力!

7月6日に放送された「ためしてガッテン」で本学の学生が画面に! 番組テーマは、「消臭! わが家のニオイ一発撃退術」。なお実験で建築学科の学生(光田研究室)による実験が放送された。今回の撮影は、「におい」の専門家として建築学科の光田助教授に番組から協力依頼があったため。学生達は、番組の重要な部分の実験を担当した!



第13回中日新聞広告賞で 企画賞・準賞受賞!

昨年、大学創立40周年記念事業として同窓会、後援会の協賛により実施した企画「みんなで作る中部環境マップ」が、中日新聞広告賞の企画賞・準賞を受賞した。この企画は、中部圏の小学生を対象に簡易キットを使って窒素酸化物の調査を実施し、環境マップを作成するというもの。5,000人以上の応募があり1,450人の子どもたちにより実施された。表現上の完成度のみならず、読者に対する情報量の質や量など新聞広告の社会的な役割にポイントが置かれ審査された。大学が広告賞を受賞するのは、10年ぶり2件目とのこと。



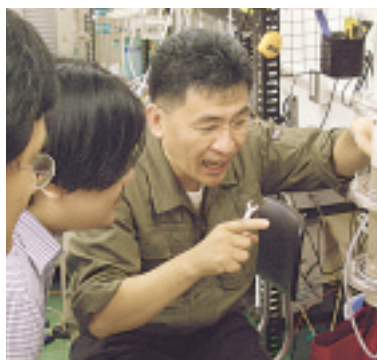
機械工学科 松居正夫教授が 日本塑性加工学会功労賞を受賞



今年5月、松居教授が日本塑性加工学会東海支部から功労賞を受賞した。先生は、1967年から長期間にわたり正会員として所属。その後、商議員、幹事として東海支部の運営と発展に尽力するとともに、本部各種事業の企画・実行にも携わるなど、東海地区における塑性加工の知識・技術の普及に寄与してきた。その功績が称えられ今回の受賞となった。

都市環境デザイン学科 棚橋秀行助教授を 日刊工業新聞が紹介

4月21日、日刊工業新聞の研究者紹介コーナー「芽はぐくむ研究室」に棚橋助教授の研究が掲載された。先生の専門は、土木分野のなかで地盤沈下などを対象とする土質力学。今回、現在実験中である油で汚染された土壌を洗剤により浄化する研究が紹介された。なお、棚橋先生の記事が日刊工業新聞に掲載されるのは、これで3回目。



日刊工業新聞 芽はぐくむ研究室
(2005年4月21日)



機械工学科 鈴木桂輔助教授が 自動車技術会論文賞を受賞

昨年、ハンズフリーでテレビや新聞の取材を受けた鈴木助教授が、平成17年4月の第55回自動車技術会賞で論文賞を受賞した。論文名は、「運転パフォーマンスの変動を考慮した運転支援システムの確率モデルの検討」。日本自動車研究所の山田喜一氏ほか4名による論文で、交通事故の低減に大きく寄与する内容と評価された。

教員の新刊書出版

建築学科 瀬尾文彰教授 「ハイパーサーフェスのデザインと技術～ やわらかな時代の建築に向けて」

広がりゆく自由曲面の建築世界。自然物のような「やわらかさ」を表現する新しい建築の最新事例を紹介し、やわらかな建築技術のあり方について、デザイン、構造技術、生産技術の3つの軸からその動向と可能性を探る。



監修 瀬尾文彰
松本信二
発行 彰国社
発行日 2005年2月10日
定価 2,415円(税込)



日刊工業新聞「著者登場」に登場した瀬尾教授(2005年6月6日)

情報学科 大石弥幸教授 「建築音響—反射音の世界—」

建築音響学の物理的基盤を形成する残響場についてさまざまな視点からモデル化と定式化を行い、その具体的な応用を紹介する。大石教授は、室内音響、心理音響などの研究に従事していることから、第8章「残響場内の物体の周りの音場」を担当している。



編著者 久野和宏・野呂雄一
発行 技報堂出版
発行日 2005年6月3日
定価 3,885円(税込)



建築学科 稲垣卓造教授 「建築の色彩設計法 Color Design for Architecture」

建築設計者、建築を志す学生および建築色彩に興味のある読者を対象に書かれており、「建築の色彩設計」と、「色彩設計に役立つ知識」の2編からなる。稲垣教授の担当は、新名古屋発電所の色彩設計などで、本学を事例とした周辺環境調査についても紹介されている。

編集・発行 (社)日本建築学会
発行日 2005年4月25日
定価 3,570円(税込)

第40回 同窓会総会開催

5月28日、大学祭期間中に「第40回同窓会総会」が開催された。ゴビーホールで総会、A棟14階ラウンジで懇親会が行なわれたが、参加者のなかには、小さな子供さんと一緒にの姿も。また、今年も「ゴビー鮎」が来店!卒業生の方々が集まり、大いに盛り上がっていた。



平成17年度 春期情報処理技術者試験に多数合格!

エクステンションセンターでは、資格試験の団体受験を取り扱っているが、今回の情報処理技術者試験にも多数の学生が受験した。ここでは、難易度の高い2つの試験について合格者を紹介する。

■基本情報技術者試験(全国平均14.3%)

02B 河尻賢治君 02B 渡辺貴洋君
03J 名和悠太君 03E 畔樹 博君
03B 加藤竜裕君 03B 神谷由佳さん
03B 山田敏雅君 03B 横幕悠一郎君
04B 竹上幸徳君 【9名合格】

■ソフトウェア開発技術者試験(全国平均14.8%)

02B 中川禎之君 【1名合格】

※基本情報技術者より上位の国家資格

人事

退職/H17.3.31付

嘱託職員

小川 照美/大学事務部 学生室[保健室]
三澤 光男/工学部 機械工学科
坂田 正光/工学部 情報機械システム工学科
小島 務/工学部 建築学科
大橋 一夫/情報学部 情報学科
小島常三郎/情報学部 情報学科

臨時補助員

鬼頭 悟/工学部 機械工学科
加藤 邦昌/工学部 機械工学科
坂尻 亮/教養部 外国語教室

退職/H17.6.30付

嘱託職員

武末 文治/大学事務部 図書館事務室

採用/H17.4.1付

嘱託職員

加藤 淑恵/教育・学生支援部 学生室[保健室]
斧田 初行/工学部 機械工学科
塚原 康行/工学部 機械工学科
桜井 政一/工学部 情報機械システム工学科
吉照/工学部 建築学科
竹内 滋/情報学部 情報学科
津留 正生/情報学部 情報学科

採用/H17.7.1付

専任事務職員

松下 賢則/法人本部 通信・情報システム室主任部
員 兼 大学事務部 情報教育センター事
務室主任部員

異動/H17.7.1付

専任事務職員

大矢 郁夫/教育・学生支援部長 兼 経営企画本
部 主席部員 兼 教務システム開発プロ
ジェクトリーダー

藤埴 照実/大学事務部 図書館事務室主任部員

後援会 第42回定期総会開催

5月29日、ゴビーホールで定期総会が開催された。毎年この時期に開催される総会は、後援会の諸行事、基本的な活動方針などが協議され、大学の現状、学生の大学生活などをより一層理解いただくことを目的に開催されている。今年度も昨年同様、大学祭期間中に開催、宴祭の様子も楽しんでいただいた。



同窓会による寄附について

平成16年度から5年間にわたり、同窓会から学生支援のため、大学に寄附金が贈られることとなった。寄附金の一部は、資格取得支援としてTOEICなどの受験料補助に運用されている。なお、8月からは、基本情報技術者や第3種電気主任技術者といった資格合格者へも報奨金として支援されることに!詳しくは、エクステンションセンターまで。

クリーンキャンペーン

学生会と学生室では、6月から「大同工業大学クリーンキャンペーン」を実施している。これは、学生と職員によるキャンパス周辺の一斉清掃で、毎月第4月曜日にこなしているもの。きれいなキャンパスを保つには、一人ひとりの意識が必要。この機会にぜひ協力を!

■開催日時/毎月第4月曜日12:30~12:45(15分間)

■受付/学生室



速報

澤岡学長、スペースシャトル打上げで報道番組出演!!

7月14日、野口聡一さんが搭乗するスペースシャトル「ディスカバリー」の打上げに関連し、澤岡学長が民放各局に出演。TBSの「みのもんたの朝ズバッ!」では、コメンテーターとして生出演!詳細は、次号で。

編集後記

- ①平成18年度は、新学科や学部学科の改組など、本学が大きく変わろうとしています。日本の社会や世界が変わろうとしている21世紀、DITも新たな動きを見せました。この変革に、社会がどう反応するか注目されます。これからも大同工業大学に目が離せません。
- ②研究をはじめクラブ活動や大学祭で活躍する学生たち。中には知られていない活躍もあると思います。今後も学生たちの活躍を取材し、皆さんに紹介していきます。
- ③広報室では、本紙のほかホームページでもDIT情報を発信しています。タイムリーにそして積極的に掲載していきますので、皆様からの情報提供をお待ちしています。

